

ふ  
と  
の



町花：山百合

# 議会だより

## 9月定例会

No.129

平成26年10月20日

平成25年度会計の決算を認定 .....	2
税金等の滞納額と貯金・借金 .....	5
一般質問は防災計画など7議員が10問 .....	8
追跡レポート：凍結路面の安全対策は .....	15



ばあばと手をとってゴールイン  
こども園運動会

# 68億9千万円を認定

9月定例会は、9月12日から19日まで、8日間の会期で開催され、一日繰り上げて18日に閉会しました。

平成25年度各会計の決算認定や、こども園の運営に関する基準を定める条例、教育委員会委員の任命など20議案が提出され、平成26年度一般会計補正予算を含め、原案のとおり可決しました。

一般質問には7人の議員が防災計画と災害時の対応等について、10問に論戦を展開しました。

また、9月3日には全員協議会が開催され、除雪機械4台の購入予算のほか、平成25年度から見直しを進めていた防災計画書の概要説明がありました。



## 決算審査意見

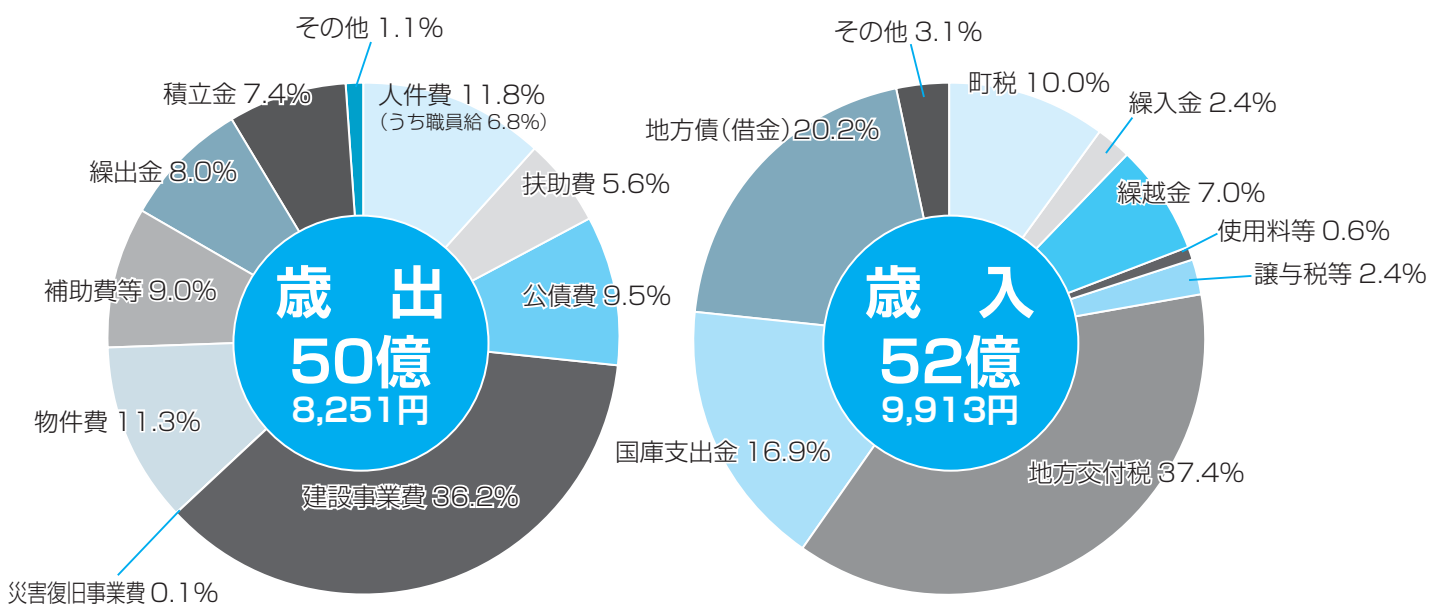
人口減少が進むなか振興計画に掲げた町の将来像の実現に向けた効率的な行財政運営を

監査委員 薄井憲一  
監査委員 佐藤弘信

平成25年度決算は、一般会計・特別会計ともに黒字決算となり、基金積立に2億6千万円が積み増しされた。こうしたなか管内に先駆けて幼保一体化施設「ふるどのこども園」が8億5124万円で建設されるなど、子育て支援施設の整備が図られた。また、防災計画の見直しが行われ、指定避難所等が設定されたが全国的に大雨による土砂災害が多発しているため、ハザードマップの配布など町民への周知を速やかに行われた。地方経済の先行きへの不安とともに人口減少が続くと思われるが、振興計画に掲げた町の将来像の実現に向け効率的な行財政運営を図りたい。

# 25年度会計決算

## 一般会計の歳入歳出の性質別割合は！



## 各会計の決算状況と採決結果

(1万円未満切り捨て)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	採決の結果	
一般会計	52億9,913万円	50億8,251万円	認定 (9対2)	
特別会計	国民健康保険	7億390万円	6億5,308万円	認定 (10対1)
	簡易水道	1億35万円	9,854万円	認定 (全員賛成)
	農業集落排水事業	8,863万円	8,686万円	認定 (全員賛成)
	林業集落排水事業	2,335万円	2,288万円	認定 (全員賛成)
	介護保険	6億1,743万円	5億9,703万円	認定 (全員賛成)
	後期高齢者医療	5,670万円	5,667万円	認定 (全員賛成)
合計	68億8,956万円	65億9,760万円		
前年対比	110.2%	113.9%		

# 議 案 認 定 決 算

議案  
審議

## 一般会計決算認定

こども園の建設をはじめ役場庁舎の太陽光パネル設置工事等により、歳出額が5億8251万円となった決算を審議し認定しました。

Q 児童福祉費で1億2千万円が不要残となった理由は何か。  
A 戦略的産地づくり総合支援事業補助金の支出先はどこか。

A こども園の建設工事に伴うものです。  
A 事業体で4団体、おふくろの駅出荷者6名です。

### 討 論

反対

岡部淳一 議員

人口減少や雇用対策など対応・対策が実施されなかったため反対します

賛成

佐川勇司 議員

大震災や原発事故の復旧に取り組むとともに、幼保一体化施設の建設など事業も実施されており賛成します。

反対

高木節男 議員

昨年9月の補正予算に反対したので決算についても反対します。

採決

賛成 9  
反対 2

可決

議案  
審議

## 国民健康保険特別 会計決算認定

Q 資格者証・短期資格者証の発行世帯に対する納税相談等の町の対応は。

A 資格者証等の発行世帯に限らず、滞納世帯を対象として随時納税相談を実施しています。

### 討 論

反対

岡部淳一 議員

一般会計からの法定外繰入や保健指導など町の取り組みは評価するが、保険料を5%値上げしているため反対します。

賛成

佐川勇司 議員

被保険者が減少するなか、一般会計から3600万円の繰入を実施し、税率引き上げを抑制するなど、被保険者の負担軽減を行っており賛成します。

採決

賛成 10  
反対 1

可決

## 請願審査

5件の請願が提出されそれぞれの常任委員会で審議が行われ採択されました。

地方財政の充実強化を求める意見書提出の請願

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金による就学支援事業の継続を求める請願

政府による緊急の過剰米処理を求める請願

農業委員会企業の農地所有農協改革など農業改革に関する請願

採択

(単位)：千円

会計別		収入未済額の内訳	
一般会計	町税	28,603	
	保育料	2,657	
	住宅使用料	5,018	
	負担金・貸付金	570	
特別会計	国民健康保険	国民健康保険税	51,233
	簡易水道	水道使用料	1,883
	集落排水	集落排水使用料	2,956
	介護保険	介護保険料	1,701
	後期高齢者	保険料	28
合計		94,649	

税金使用料の  
滞納額



# わが町の 一般会計分 貯金と借金

## 借金の種類

借入金は元金です。

区分	25年度末残高	昨年度増減	算入率
一般公共事業債	4,050万円	3,985万円	50%
公営住宅建設債	7,053万円	△1,617万円	0%
災害復旧事業債	2,130万円	△714万円	～95%
義務教育整備債	2,300万円	△947万円	～70%
一般単独事業債	1億2,893万円	△5,911万円	～50%
過疎対策事業債	20億6,906万円	5億1,230万円	70%
辺地対策事業債	5億8,707万円	1億3,052万円	80%
財源対策債	1,832万円	△233万円	100%
臨時財政特別債	1,558万円	△509万円	100%
減税補てん債	3,680万円	△1,168万円	100%
臨時税収補てん債	902万円	△270万円	100%
臨時財政対策債	14億9,884万円	3,872万円	100%
計	45億1,899万円	5億8,916万円	

※算入率は、返還金の一部が後年国から交付税として入ってくる割り合いを示したもので、算入率100%は全額国が補てんするということです。

## 貯金の種類

積立基金

区分	25年度末残高	昨年度増減
財政調整基金	12億590万円	△1,179万円
減債基金	3億498万円	2億9,766万円
文教厚生施設等基金	14億3,795万円	3,314万円
ふるさと創生基金	1億4,204万円	△2,395万円
さわやか福祉基金	1億5,425万円	0
計	32億4,512万円	3億26万円

運用基金

区分	25年度末残高	昨年度増減
土地開発基金	1億円	0
優良雌牛導入事業基金	5,500万円	166万円
奨学基金	6,737万円	633万円
計	2億2,237万円	799万円

※基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て（積立基金）又は定額の資金を運用するために設けられる資金（運用基金）又は財産です。

# 1億8700万円を基金積立

議案  
審議

## 一般会計第2次補正予算

歳入歳出それぞれ3億556万9千円を追加し予算総額を42億1048万8千円とする補正予算。前年度からの繰越金1億8734万円、地方交付税の確定分1億3659万円の歳入のほか、除雪車両購入経費901万円、田口中井地内の国道改良に伴う水道管移設工事の繰出金2500万円、仙石地区の可搬ポンプ軽トラ搭載車購入費500万円が計上された予算です。

**Q** 歳入余剰金の確定により財政調整基金に7800万円、文教基金に1億6600万円と主な歳

正をして、他の事業に振り替えることはできなかったのか。

出は基金への積み立てとなっているが、当初予算に

**A** 前年度からの繰越金については、幼保一体化施設建設事業分が大きく繰越工

事となったため、減額振り当り付税の増額分については本年7月末に確定したので、本定例会に補正計上したものです。

採決

全員賛成

可決

### 教育委員会委員の任命に同意



みずの たかお  
水野悦男さんを再任

住所 下大久田

(任期) H30・10・7まで

### 人権擁護委員の推薦に同意



すずき かずみ  
鈴木一美さんを推薦

住所 下松川字大原

(任期) H27・1・1から

## 全員協議会

9月3日



購入予定の除雪機械

除雪体制を強化するため、新たに大型タイヤローダー2台、小型タイヤローダー1台、融雪剤散布装置と除雪排土板を備えた除雪トラックの合わせて4台の中古除雪機械の購入費用を、9月議会に補正計上するほか、見直し作業行っていた防災計画書の概要についての説明がありました。

# 常任委員会の活動

## 総務常任委員会



子ども園の庭を視察調査

小学校校庭及びこども園園庭の状況調査のほか旧保育所跡の活用、流鏝馬保存会の馬管理状況を視察・調査しました。現地調査後付託された請願3件の審査を行い採択しました。

## 産業建設常任委員会

健康管理センターの改修工事のほか町道才竜内石神線改良工事や大竹市内の稲のホールクropp収穫作業、汚染廃棄物仮置き場の保管管理状況を視察調査しました。現地調査後、付託された請願2件の審査を行い採択しました。



健康管理センター改修工事を視察調査

町民の声を  
伝える

町政に  
生かす

町の考えを  
ただす

# 一般質問

一般質問は、9月17日に7人の議員が10問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。



みどりかわ えいいち  
緑川 栄一 議員

いわき・石川線通行止めによる  
迂回路の整備は

国道349号線は  
平成27年度完成予定

町長

平成26年4月5日に発生した県道いわき・石川線、法面崩落による通行止めは、5か月が過ぎ県南・県中地区重要物流路線の遮断は、地域経済及び、通勤・観光その他に多大な損害を被っており、多岐にわたります。又、迂回、国・県道及び町道は、道幅が狭くすれ違いの容易でない箇所

が多数あり、交通事故の危険にさらされております。そこで、現在の状況について伺います。

**緑川** 片側交互通行による交通解放の時期は。  
**町長** 県から発表があります。9月26日午後3時の予定であるとのことでありま



国道349号土鍋地内の工事状況

**緑川** 国道349号線土鍋地区の完成年度は。  
**町長** 平成27年度完成予定と聞いております。

**緑川** 県道三株・下市萱・小川線の狭幅部の改良計画は。  
**町長** 今年度から路線沿線の懸案箇所の調査を行うと聞いております。

**緑川** 町道小川内・小作線の改良計画は。  
**町長** 県道いわき・石川

線の通行止めによる交通量の増加はありますが、今後の対応につきましては、現在のところ路線としての改良計画はありませんが、部分的な改良を必要とする箇所があると思っております。  
**緑川** 町道越代・高房線の改良計画は。  
**町長** 平成24年度発注の工事により、改良済みと考えております。



狭隘部の多い町道・小川内小作線・百目鬼地内



**佐川** 駆除捕獲対策事業  
 があります。

**町長** イノシシによると  
 思われる被害について大  
 久田地区から2件の報告  
 がありました。

増発するイノシシ被害  
 は農作物だけでなく民家  
 の宅地まで侵入し、人的  
 被害まで心配される深刻  
 な状況と見えます。実り  
 の秋を迎え、これまでの  
 対策と今後の対応につい  
 て伺います。

**町長** 箱わな等の捕獲用  
 器材は町有害鳥獣捕獲隊  
 が保有しており、要望者  
 に対してわなを設置して  
 おります。また、くくり  
 わなについては、わな猟  
 の資格取得者に対し一部  
 貸し出しも行っています。

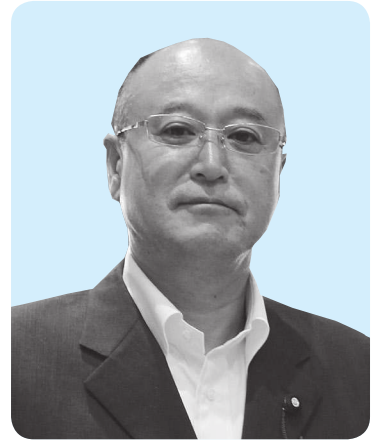
**佐川** わな捕獲が有効と  
 聞きますが、その状況と  
 支援策は。

の導入により捕獲頭数が  
 増加した、その内容は。  
**町長** 24年度は90頭、25  
 年度では100頭の捕獲  
 頭数となっております。

現行支援は継続していく

町長

イノシシ駆除に通年助成を



さかわ ゆうじ 議員  
 佐川 勇司



箱わなにより捕獲されたイノシシ

支援として県鳥獣被害防  
 止緊急捕獲等対策事業で  
 一頭あたり8千円、狩猟  
 期内で県イノシシ捕獲管  
 理事業による一頭あたり  
 8千円の支援があり、更  
 に町で1万2千円上乗せ  
 して一頭あたり2万円を  
 助成しております。また  
 わなの購入、追い払い活

動等の支援の制度があり  
 ます。対象者は有害鳥獣  
 捕獲隊員または狩猟免許  
 取得者であり、猟期外は  
 町から捕獲許可を受けた  
 者です。  
 今後、国の支援策につ  
 いては、現在、鳥獣保護  
 法の見直しが行われてい  
 るようです。



民家周辺にも電気柵を設置

**佐川** 鳥獣被害対策実施  
 隊設置の検討はしてきた  
 か。  
**町長** 他町村の事例を参  
 考に検討してまいりまし  
 たが、現在のところ一定  
 の会員数が確保され、着  
 実に活動が行われている  
 事を踏まえ、町有害鳥獣  
 被害対策協議会及び町有  
 害鳥獣捕獲隊の取り組み  
 としております

**佐川** 銃猟禁止区域等  
 の銃器使用は制限されて  
 きたが制度の見直しは。  
**町長** 県との協議で、わ  
 なによる捕獲した有害鳥  
 獣を仕留める場合のみ、  
 銃器の使用が可能になり  
 ました。  
**佐川** 国の支援制度内容  
 と今後における助成はあ  
 るか。  
**町長** 狩猟期以外の捕獲



さとう かずお 議員  
佐藤 一夫

町道の改良計画は

通行量など緊急性と  
経済性を考慮し実施します

町長



急勾配・急カーブが多い町道 下論田鵬巣線



復旧が待たれる町道 松久保鵬巣線路肩崩落現場

生活基盤である道路網整備に長期に渡り投資を実施してきましたが、現道舗装の路線もあり改良を望む声も多く聞かれます。町道改良の計画はどのようなものか。また、豪雨等による公共土木災害の復旧について次の点を伺います。

**佐藤** 町道改良を望む要望書提出は。

**町長** 5年間で平成21年度と22年度が各5路線、23年度から25年度が1路線です。

**佐藤** 町道改良に向けた計画は。

**町長** 地域間を結ぶ重要度を勘案して路線を選定し順次改良を図っていきます。



路面の老朽化が進む町道

**佐藤** 公共土木災害復旧の対応は。

**町長** 大雨等による災害は基本的に国の補助を受け復旧できるよう対応していますが、災害の規模日常の管理状況等により国の基準に満たないものは、町単独で対応します。

**佐藤** 道路行政に対する課題と取り組みは。

**町長** 町道の改良及び維持管理については多額の経費が必要であり、その財源確保が課題で財源に応じた改良等の取り組みを行っています。



きど ひさやす 議員  
木戸 久康

町民が元気で  
幸せを感じる町とは何か

安心して暮らせる町づくりを  
目指します

町長

以前から地方にとって少子高齢化や人口減少問題が取りざたされているが、特に最近の推計によると2050年には若年女性が半減し全国の市町村の半分が消滅する、特に東北地方はほぼ全滅する可能性があるとの報道されました。わが町も何か手を打ちたくとも有効な手段が見いだせないのが現状です。若い方が魅力を感じ住みたくなくなる町、子供達や高齢者にもやさしい町にする事が大切です。

一人暮らしや老々介護家庭も急速に増え医療問題健康問題、買い物も出来ない問題等深刻な事態が山積しております。

今、我々の年代に出来る事はやっておき、後は次世代が知恵を出して素晴らしい町づくりをして



4年目となるスクールバス運行

頂く事を期待するしかありません。ハード事業も当然必要ですが、この辺で町民が幸せを感じ喜びを感じる町政とは何かを考えるべきと思います、次の点について質問いたします。

**木戸** スクールバスの運行状況は。

**教育長** 小学校は学校から2キロ以上、中学校は4キロ以上の児童生徒を基本としております。小学生が218人、中学生が60人利用しております。

**木戸** 福祉バスの目的と運行状況は。

**町長** 町内に居住する65歳以上の高齢者や身体障害者等を公共施設や医療機関等に移送することが目的です。

**木戸** 校庭、園庭の芝生の今後の管理はどう考えているか。

**教育長** しっかりした維持管理体制を整えて行きたいと考えております。

**木戸** 除雪車を中古車両4台購入して計6台となるが、その活用方法と管理方法は。



芝生化されたこども園

**町長** 町の臨時職員及び町内土木業者のオペレーターによる運行を予定しております。管理は、町が直接管理いたします。

**木戸** 冬期間限定で山間地の高齢者を住宅に入居して頂く様な施策も考える時と思うが、その考えは。

**町長** 現在のところ具体的なところまでは至っておりませんが、検討すべき内容であります。

**木戸** やぶさめの町古殿

としてPRしているが今後この取り組みをどの様に展開していくのか。

**町長** 射手の育成が重要なことで、その取組がしっかりと図られることを望んでおります。

**木戸** 放課後児童クラブの登録人数と運営方法は現状で満足しているか。

**町長** 登録人数は57名で授業等がなければ体育館全体を利用し、一定の満足は頂いているものと思っております。



おかべ じゅんいち 議員 岡部 淳一

## 中山間事業及び町道改良の 考え方と取り組みは

## 中山間事業の計画変更は 基本的に認められない

町長

中山間事業は、生活や営農、地場産業にとって重要な施策であります。また、町道改良は町内全域に拡大し、利便性の向上に寄与しています。当然のこととして中山間事業と連携する形で町道や農道の改良にも目を向けることも望まれます。そこを伺います。

岡部 中山間事業に追加

的な事業は認められるのか。また、工事着工後に計画の見直しや設計の変更も認められるのか。

町長 事業の追加は地域の要望、効果算定を行った計画であり、基本的に認められません。事業主体は県であり、工事着工後の変更は、認められるもの、認められないものがあります。

岡部 荷市場から大原橋間の道路は距離も長く大規模な工事になるが道路の供用目的は何か。

町長 農業機械の安全な通行の確保、農産物輸送の効率化等、農業の振興に寄与することです。

岡部 荷市場・大原橋間の改良に伴って、交差している各路線改良に向けての考えは。

町長 交差部分については、本路線の工事において対応します。

岡部 大原橋より旧大原小学校線への接続、そして旧大原小学校橋への改良については、どう対処していくべきと考えているのか。

町長 現在のところ、その検討はおこなっておりません。

## 米の価格暴落と 今後の農業対策は

## 支援は国の制度に 準じたものになります

町長

米価は全国的に軒並みダウン、60キロ価格昨年比で3千円も暴落している情報が流れました。暴落した価格では再生産する費用すら出ず、米づくりへの意欲を削ぐ危機的状況ではないでしょうか。その状況下において国の

緊急的対応が求められると同時に、町としても支援することが急務となっております。これまでの支援実績を考えながら次の質問をします。

岡部 米価格の暴落に対する認識は。

町長 農業者の手取りが

減少し、不利な条件の農地が多い我が町農家への影響は特に厳しく、ますます農業離れが加速し、基幹産業である農業の衰退が懸念されます。

岡部 町内及び県内産米価の推移について現状での情報把握は。

町長 JA等を通じて、今年度米価格の状況について情報を収集していますが、報道によると概算金単価は昨年産米と比較し、2、3割の大幅な下落となっており、過去最低水準とのことです。

岡部 町内産米価が昨年比で一定の下げ幅になった場合の支援は。

町長 米価の決定は国策に大きく影響し、変動することから、国の制度に準じた支援になると思います。

岡部 今後の稲作の方向性についての考え方は。

町長 今後も町の基幹農産物であるとの認識の中で、関係機関と連携し、地域の特性を活かした産地づくりの取り組みなど

収入拡大につながる対策が必要と考えています。



米の全袋検査風景

## その他の質問

- ・町防災計画と突然の災害発生対策
- ・原発事故による汚染物仮置きと除染目標への対応

昨日、局地的短時間の大雨による災害が全国各地で発生しています。その中でも昨年10月に伊豆大島で発生した土砂災害今年8月には高知県・福岡県・京都府・広島県など広範囲に発生した豪雨を気象庁では平成26年8月豪雨と命名し今後の対策にあたっていきます。特に広島市内で発生した大規模土砂災害は死者不明者74名と多くの人命が失われました。わが町でも起こりうる災害であると

思います。そこで住民の生命をいかに守るか、災害に対する事前対策及び発生時の対応などについて伺います。

**鈴木** 砂防ダムの数とその維持管理はどうなっているか。

**町長** 町内の砂防ダムは21箇所あり、管理は県中建設事務所で行っております。

**鈴木** 危険な沢・崖地・橋などの把握状況は。

**町長** 県の調査対象箇所は町内に土石流危険渓流

災害に対する対応は



すずき いちろう 議員  
鈴木 一郎

防災計画に基づき対応します

町長

箇所が180箇所、急傾斜地危険箇所は80箇所となっております。町道橋については、平成22年度に全橋の健全度の調査を行い優先順位の高い橋梁から順次、対策を行っております。

**鈴木** 住民の避難対策はどのようなになっているのか。

**町長** 大雨警報や土砂災害警戒情報などの発令時に防災行政無線やエリアメール・緊急速報メール等を活用し、必要に応じ避難勧告、避難指示等を発令し周知を図ります。これについては、町広報誌10月号で周知をいたします。



指定避難所の町公民館

**鈴木** 非常食及び防寒対策用品の備蓄状況は。

**町長** 非常食については現在備蓄がありませんので、確保に努めてまいります。また、毛布や布団は約8百枚、水は5百ミリットルで約2千4百本の備蓄があります。

**鈴木** 近隣町村との連絡及び支援体制は。

**町長** 町では平成12年に近隣6市町村と災害時に



防災用品が保管されている旧宮小特別教室

おける相互応援協力を結んでいます。また、平成17年には、岩手県紫波町と大規模災害時の相互応援に関する協定を結んでいるほか、平成18年にNPO法人コメリ災害対策センターやあぶくま石川農業協同組合と食品、衣類日用品、飲料水等の物資調達の災害時支援協定を結んでおります。



旧論田小学校



たかぎ せつお 議員  
高木 節男

遊休施設の有効利用は

さまざまな角度から検討を  
行っています

町長

定例会前の議会全員協議会において、17年から29年経過した除雪車両購入について説明がありました。地方自治法第2条第14項には、地方公共団体は、その事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならないと規定されています。その理念で使えるものを大事に使う事で、中古の除雪車購入は、的を射ていると思



旧幼稚園

います。最小の経費で最大の効果を上げるために、少子化による、小学校の統合や保育所、幼稚園の一体化などにより生じた、跡地や遊休施設の有効利用について伺います。

**高木 大原小学校跡の利用計画は。**

**町長** 林業関連施設にかける利活用計画について現在、様々な角度から検討を行っています。

**高木 論田小学校跡の利用計画は。**



林業関連施設として計画予定の旧大原小跡

**町長** 文部科学省のホームページで廃校施設活用について紹介しており、メガソーラー発電施設、合宿所、美術品展示場などの活用についての問い合わせはありますが、決定には至っていません。

**高木 保育所跡の利活用は。**

**町長** 現在、庁内で利用方法について検討しているところです。

**高木 幼稚園跡の利用計画は。**

**町長** 現在のところ、長期的な利用計画はありませんが、町公民館改修工事が開始されましたら、公民館仮事務所として利用を考えています。

**高木 こども園に隣接している防災倉庫の活用状況は。**

**町長** 現在、災害救助用の毛布、ふとん、水などを備蓄するとともに、こども園の運動会用備品等の倉庫として利用しています。

## テーマ 雪道対策と除雪体制

Q 平成26年3月一般質問から

除雪体制の強化は。

A 町長答弁

委託内容を含め作業体制を検討します。

その後の  
対応

除雪体制を強化するため、新たに融雪剤散布装置付き除雪トラック1台、除雪用大型タイヤローダー2台、小型タイヤローダー1台のあわせて4台の購入予算を計上しました。これにより今年の冬からは町直営の除雪機械は6台となり除雪作業の強化が図られます。



購入予定の融雪剤散布装置付き除雪トラック

# みんなのページ

No.20

今回紹介するのは、「おおぎの会」のみなさんです。

## \*いつ頃どのような経緯で発足しましたか。

平成15年より、花の好きな仲間10名で越代の桜とともに、四季折々の花があったらと思い自宅から球根や花の苗を持ち寄って、荒地を耕し植菜をはじめました。



会員の皆さん



会長 水野浩子さん

## \*どのような活動をしていますか。

整備された越代の桜公園を中心に3月から11月にかけてパンジーやマリーゴールドなどの花の苗や、チューリップの球根を植えています。

また、毎月12日には花壇の日として、除草や花の手入れを行っています。



町の間伐材などを利用した  
木工品づくりもしています。



花壇の手入れ活動



満開のサクラとチューリップ

## \*今後、どんな活動を考えていますか。

越代の桜と公園を含め遠方から、足を運んでくれる人、また通る人にいろいろな花を見てもらい心が癒され、また来てくれることを願い活動しています。

花壇の手入れなど  
ボランティア活動をしてみませんか。

連絡先 おおぎの会 会長 水野浩子  
0247-53-2432

“町政を知るよい機会”  
議会を傍聴してみませんか

次回の  
定例会

12月中旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第129号  
平成26年10月20日発行